

性感染症に関する豆知識（おまけ）

今回からは性感染症ではありませんが、
妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について
「おまけ」としてお届けします。



No.S1(サイトメガロウイルス感染症)

原因はサイトメガロウイルス（CMV）です。
母乳、子供の唾液や尿、輸血などから感染します。妊娠中は子供の唾液や尿に触らない
ようにしましょう。

No.S2(サイトメガロウイルス感染症)

ほとんどが幼児期に感染します。妊娠可能女性の70%がすでに感染しています。
症状はありません。
未感染の女性が妊娠中に感染する確率は2%で、その約40%で母子感染します。

No.S3(サイトメガロウイルス感染症)

母子感染すると出生時に症状がなくても難聴や精神発達遅延が出てくる可能性が
あります。
先天性感染症児の90%が発達障害や難聴などの後遺症が残ります。

No.S4(サイトメガロウイルス感染症)

子供や大人は症状がないので治療する必要はありませんが、症状が出て必要な場合は
飲み薬や点滴で治療を行います。

